

件名：美術館企画展「高橋房雄展」 ～白黒版画－響きあうものたち

1. 目的

積極的に創作活動をし、本市にゆかりのある作家を取り上げる企画展。併せて美術講座等を開催し、作家の奥深い魅力を紹介する。

2. 内容

高橋房雄は、子どもの頃に出会ったパウル・クレーの作品に感動し、いつしか版画を制作するようになりました。高校を卒業後、1957年に上京し、印刷会社に勤めながら、ほぼ独学で版画を探求し続け、1958年からは日本アンデパンダン展、読売アンデパンダン展、日本版画家協会展などに出品し発表活動を始めます。1963年からは現在も所属する「春陽会」に参加。その年の春陽会第40回展に初出品、初入選して創作活動を続けますが、1965年に家業を継ぐために群馬県に帰郷。7年ほど創作活動の中断を余儀なくされましたが、1972年頃から仕事の余暇を見つけながら再び創作に取り組み、春陽会第54回展を機に1977年から発表活動も再開しました。子どもの頃思いを貫き、木と線の魅力に取り憑かれて創作活動を続けている版画家です。

3. 事業の概要

- ①会期 平成24年10月6日（土）～11月4日（日）
- ②会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 3階企画展示室
- ③観覧料 300円
- ④休館日 火曜日

⑤作家紹介

《高橋房雄 たかはし ふさお》

- 1937 渋川市生まれ
- 1957 高校卒業後、上京し印刷会社に勤めながら独学で版画を勉強
- 1958 日本アンデパンダン展、読売アンデパンダン展、
日本版画家協会展などに出品
- 1963 「春陽会」に参加、初出品、初入選
- 1965 家業を継ぐため一時、創作活動を中断
- 1977 作品制作を再開し、「春陽会」にも出品を始める
- 2011 レンブラント、ルオーの版画作品を市に寄贈
- 現在 木版画家として創作活動を継続

⑥関連行事

美術講座

- 期日 10月21日（日）14:00～15:30
- 会場 美術館 3階 資料室
- 講師 須田真理（当館学芸員）

- 4. 主催 渋川市教育委員会
渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館（担当：須田）

- 5. 実績 本市ゆかりの作家展
平成23年度 「石野安親展」